

膜生物学・医学学術講演会

日時：平成27年12月10日（木） 17時～18時30分

場所：神緑会館 多目的ホール



演者： 兪 史幹 先生
理化学研究所 Yoo生理遺伝学研究室 准主任研究員

演題： 治るか治らないか、それが問題だ：ショウジョウバエと
ゼブラフィッシュにおける組織修復研究からの展望

生体組織はその機能を維持するために、損傷に対する自己修復能を持っている。数細胞レベルの損傷に対する組織修復は日常的に生じている一方、比較的大きな傷をうけると、線維化の結果傷跡として残る場合もあれば、完全な組織再生が行われることもある。一方、組織損傷は全身に及び影響もあり、これは急性ショック症状として臨床医学的に大きな問題となる。これらの組織修復メカニズムが生物・組織の種類や年齢に依存することは分かってきたが、細胞・組織・個体が損傷に対してどのように対応するのかは生物学としてまだまだ未知である。生物学における最後のフロンティアの一つだと言っても過言ではない。私は、ショウジョウバエの遺伝学とゼブラフィッシュの細胞生物学を組み合わせ、組織修復のメカニズムを探索してきた。本セミナーでは、その取り組みについてお話ししたい。さらに、しばしば「治らない傷」と記述される腫瘍が、個体レベルで与える影響（悪液質・癌死など）のメカニズムを明らかにすることを目指す、現在進行形のアプローチについてもディスカッションしたい。

【コーディネーター】 消化器内科学分野教授 東 健

【主催】 膜生物学・医学教育研究センター

【連絡先】 研究支援課研究企画係 Tel:5195 E-mail:k9shien@med.kobe-u.ac.jp